

新庁舎建設とともに持続可能な 行財政運営の推進



歳入

49億5,000万円

財産収入
4,627万9千円(0.9%)

繰越金
3,000万円(0.6%)

その他
7,412万1千円(1.6%)

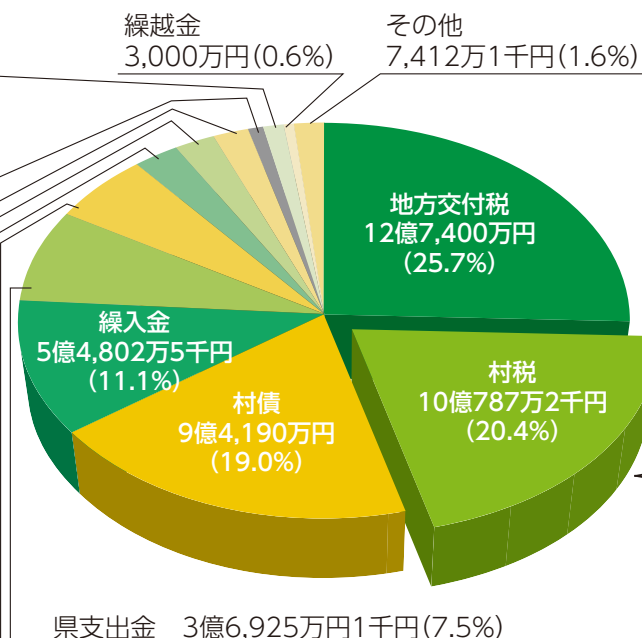
諸収入
4,800万8千円(1.0%)

寄附金
1億2千円(2.0%)

地方譲与税
1億667万1千円(2.2%)

地方消費税交付金
1億2,000万円(2.4%)

国庫支出金
2億8,387万1千円(5.7%)



村税の内訳

固定資産税 (62.5%)	6億3,032万4千円
村民税(個人) 26.7%	2億6,944万1千円
村民税(法人) 4.6%	4,639万9千円
軽自動車税 3.6%	3,650万9千円
たばこ税 2.5%	2,516万3千円
入湯税	3万6千円

歳入の概要

歳入でもっとも大きな25.7%の比率を占めるのは地方交付税で、対前年度比で4.2%の減額となります。

村税は、対前年度比4.1%の減額です。地方譲与税は、対前年度比4.1%の減額です。繰入金は、対前年度比0.1%の減額です。

自主財源は、18億2,185万6千円、依存財源は31億2,814万4千円となっています。

地方交付税等の依存財源が歳入の63.2%を占めており、昨年よりも依存財源の比率が高い状況ですが、主な理由は新庁舎建設に係る起債(借入)の増額によるものです。

歳出の概要

総務費は、対前年度比75.1%の増額となります。これは新庁舎建設に関する費用が新たに8億円程度計上されたことと、ふるさと納税による特産品返礼事業費の増加が主な増額の要因です。また、吹張区の住民センター建設費用の一部を負担していきます。なお、昨年からは始まった会計年度任用職員(臨時職員)制度により、総務費から各課の費用に振り分けた分の減額があり

用語説明

一般会計と特別会計

地方公共団体の会計には、一般会計と特別会計があります。一般会計は、基本的・全般的な経費を経理する会計で、特別会計は、特定の事業を行うために、歳入・歳出を一般会計と区別して経理するための会計です。

歳入

▼自主財源 村が独自に確保できるお金
村税や施設使用料など。

▼依存財源 国や県の判断により割り当てられるお金。地方交付税のほか、村債も依存財源にあたる。

▼村税 皆さんからの税金で賄われるお金。昭和村では、村民税、固定資産税、たばこ税、軽自動車税等が村税になる。

▼地方交付税 地方公共団体が行う業務を、すべての市町村が同じように行えるために、ある一定の基準で国が市町村に支給するお金。

▼地方譲与税 国税として徴収したものを、市町村に対して譲与するお金。

▼地方消費税交付金 地方消費税が交付基準によりあな分して交付される。

▼環境性能割交付金 自動車税環境性能割の収入源の一部を財源として、村道の長さや面積に応じて県が村へ交付する

特集 令和3年度 昭和村当初予算

令和3年度の当初予算が3月議会で可決されました。限られた財源を有効に活用するために歳出予算を配分し、効率化を意識した経費の見直しを図りました。

▶問合せ 総務課財政係 ☎24-5111 (内線111)

49億5,000万円

歳出

村債務残高(見込)

(単位：百万円)

	令和2 年度末	令和3 年度末
一般会計	2,612	3,297
簡易水道 事業会計	245	226
農業集落排 水事業会計	1,450	1,401
債務負担行為	0	0
合計	4,307	4,924

※百円未満切り上げ、利子は含みません(債務負担行為は除く)

議会費 7,582万8千円(1.5%)

消防費
1億8,190万3千円(3.7%)

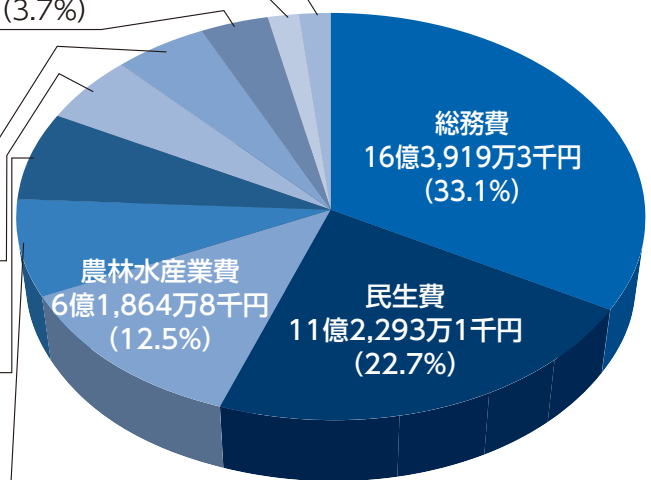
衛生費
2億4,606万9千円
(5.0%)

公債費
2億6,664万9千円
(5.4%)

土木費
3億3,704万8千円
(6.8%)

教育費
3億8,332万6千円
(7.7%)

その他 7,840万5千円(1.6%)



ます。

民生費は対前年度比3・7%の増額で、保育園の会計年度任用職員の費用が民生費に移ったことが主な要因です。

衛生費は、対前年度比6・4%の増額です。主な要因は誕生祝金事業を創設し、出産に対して10万円の補助金を支給するものです。また、燃やせないごみ袋の購入料金の値下げ分を負担します。

農林水産業費は対前年度比9・5%の減額です。これは主に「野菜王国・ぐんま」強化総合対策事業などの国・県の補助金を利用した農業政策が縮小したことによるものです。

土木費は、対前年度比20・0%の減額です。これは、昨年度に道路新設改良費として、道の駅の駐車場を増設整備したことによる差分となります。

消防費は対前年度比1・6%の減額。火災の減少により利根沼田広域消防の負担金が減ったことによるものです。

なお、今年度から消防団員の報酬を増額しています。

教育費は、対前年度比5・6%の増額となります。これは、学校や給食センターの会計年度任用職員の費用が教育費に移ったことが大きな要因です。

また、今年度から保護者の負担を軽減するため、給食費の一部を補助する事業を開始するとともに、パソコンを利用した新しい教育「GIGAスクール」を本格運用していきます。

歳出

- ▼議会費 村議会の運営の経費や議員報酬など。
- ▼総務費 主に人件費や事務費、広報しよつわの発行、選挙などのお金。
- ▼民生費 社会福祉や児童福祉(保育園の管理・運営など)、老人福祉の経費。
- ▼衛生費 病気予防の各種健診や母子保健事業の経費。毎日家庭から出るごみ処理のための経費など。
- ▼農林水産業費 農林業の振興や土地改良事業の経費。
- ▼土木費 村道・橋梁の整備や砂防工事、除雪などの費用。
- ▼消防費 消防・防災施設整備の経費。(消防団の運営、消防詰所の整備など)
- ▼教育費 学校教育(小中学校の管理費)や社会教育(講演会や各種体育大会などの開催)、給食センターの経費など。
- ▼公債費 過去に事業をするために借り入れた村債の元金・利子の返済金。
- ▼県支出金 県から市町村へ、特定の事業に対して支給されるお金。
- ▼国庫支出金 国から市町村へ、特定の事業に対して支給されるお金。
- ▼繰入金 他会計や基金などから繰り入れたお金。
- ▼村債 事業を行うために村が借りるお金。

一般会計

49億5,000万円の

使いみち

主な事業



(写真はイメージです)

昭和村新庁舎建設事業

8億4万円(令和3年度)

築50年を迎えた役場庁舎の建替事業は、(株)福島建築設計事務所の実施設計を基に、いよいよ令和3年度から2年間の建設工事に入ります。新庁舎と第1期の外構工事費用として13億3,828万2千円を計上し、今年度はその6割の費用を予算化しています。新庁舎は令和4年度中に完成し、5年度から行政サービス開始の予定です。その後、現庁舎の解体や駐車場などの外構工事も行います。昭和村の未来を切り開くプロジェクトを着実に推進します。



「野菜王国・ぐんま」強化総合対策事業

7,037万円

平成20年度から始まった、群馬県の「野菜王国・ぐんま」強化総合対策事業を活用し、野菜の生産振興を積極的に取り組みます。重点8品目や地域推進品目を生産する農業者の事業拡大のための施設、または機械の整備をする場合に30%を支援する事業です。



誕生祝金事業

500万円

少子高齢化が進む中、昭和村の未来の光となる赤ちゃんの誕生をお祝いするとともに、子育てに役立てていただくために、誕生祝金として1人あたり10万円を支給する事業を開始します。

特定の事業は別で経理します

特別会計

国民健康保険

予算11億2,816万円

農業、自営業、退職した人などの医療給付費と後期高齢者支援金、また、40から60歳までの人の介護給付費を負担する会計です。事業主体は群馬県です。

介護保険

予算8億5,696万円

65歳以上で、介護を必要とする人の介護サービスや介護予防のための様々なサービスを提供するための会計で、介護保険料などを財源として運営しています。

後期高齢者医療

予算8,870万円

75歳以上、または65歳から74歳までの方で法令で定める程度の障害の状態にあると広域連合に申請し認定されたの方が加入する医療保険制度の会計で、保険料などを財源として運営しています。

簡易水道事業

予算1億3,244万円

安全な上水を確保し供給する会計です。老朽管の更新や水源浄水施設と配水施設の維持管理を行い安定供給します。健全で持続的な運営を行うために、公営企業法適用事業を進めています。

農業集落排水事業

予算3億2,302万円

貝野瀬生越、糸井三ツ谷、昭和南、永井入原地区の下水処理施設の管理と、戸別浄化槽の設置・管理を行う会計です。健全で持続的な運営を行うため、公営企業法適用事業を進めています。

ふるさと納税活用事業

全国から応援されて 昭和村が元気に！

令和2年度中に21,703件(総額7億6,286万円)のふるさと納税の寄附を全国からいただきました。そのなかから今年度は2億4千万円をふるさと納税活用事業として、各種事業に活用させていただきます。

▶ 寄付の際に選んでいただいた事業別の金額

・教育・文化づくりに関する事業	1億3,104万円
・健康・福祉づくりに関する事業	5,550万5千円
・自然・生活環境づくりに関する事業	5,662万5千円
・農業・産業振興づくりに関する事業	4,474万円
・その他、目的を達成するために村長が必要と認めた事業	4億7,495万円

▶ ふるさと納税を活用して3年度に実施する事業

担当課	内 容	ふるさと納税 充当額*
総務課	特産品の返礼	13,900万円
	区運営費補助金	300万円
	高齢者交通安全対策補助金	18万円
	集めるシステム改修	212万円
	自主防災組織活動助成金	50万円
	スズメバチ駆除費	20万円
企画課	ウィンターフェスティバル補助	50万円
	昭和の秋まつり補助	300万円
	日本で最も美しい村連合の加入負担金等	43万円
	横浜市等都市間交流推進事業	70万円
	道の駅観光PR業務委託料	500万円
	赤城山登山道管理委託料	17万円
	とうもろこし迷路作成	20万円
保健福祉課	敬老祝い金	700万円
	家族介護慰労金	100万円
	体操教室開催委託料	40万円
	下屋根根改修工事	100万円
	誕生祝金(10万円支給)	200万円
	インフルエンザ予防接種(中学生まで)	160万円
産業課	不妊治療助成	200万円
	荒廃農地解消対策事業	100万円
	さくら工房等補助金	100万円
	産業青年派遣事業	100万円
	秋まつりコンニャク大鍋	90万円
	道の駅管理委託料	600万円
	横浜開港記念バザー出店	100万円
	中学生森林に親しむ会負担金	50万円
	商工会育成強化補助金	360万円
建設課	交通安全対策	550万円
	橋梁補修工事	100万円
	観光トイレ清掃委託料等	200万円
	維持補修用材料	50万円
	住宅リフォーム補助金	100万円
教育委員会	新築住宅補助	500万円
	特別支援教育指導員の配置	2,000万円
	校務支援システム使用料	300万円
	GIGAスクール使用ソフト等	230万円
	給食センター食器洗浄機入替工事	500万円
	外国人英語指導助手雇用	800万円
	文化講演会・生涯学習大会費用	80万円
	生涯スポーツの啓発推進	60万円
	親子映画まつりフィルム借上料	30万円

※充当額とは、各種事業に充てた金額であり、必ずしも予算額ではありません。



特産品の返礼

(写真はイメージです)



とうもろこし迷路



体操教室(第一保育園)



GIGAスクール